

■ BLoC2009競技規則

1 概説

- 1.1 BLoC2009は、ボルダリングでの競技とする。
- 1.2 カテゴリーは、『シリーズ男子』と『シリーズ女子』からなる。
- 1.3 参加資格は以下の通りとする。
 - 1) 男子は過去3年以内にボルダリングジャパンカップもしくは国体本戦(成年・少年)に出場した経験のないもの(一部特例あり)。
 - 2) 女子はオープン(一部特例あり)。
- 1.4 BLoC2009は、シリーズクラス男・女ともに予選ラウンドと決勝ラウンドにわかれ、予選ラウンドはセッション方式とし決勝ラウンドはベルトコンベア方式とする。
- 1.5 各ボルダーは、使用可能ホールドをテープで明示する。それ以外のホールドを選手は使用することができない。また、壁の形状等は特に制限がない限り使用することができる。ただし、黒色テープにより明示されたデマケーション内は使用することができない。
- 1.6 各ボルダーには、アテンプトを開始するスタートホールド『S』、ボーナスポイント『B』、最終ホールド『G』を明示する。最終ホールドの代わりに、ボルダーの上に立ち上がることなどで代替する場合もある。また、各ボルダーのスタートにはボルダーNo.を明示する。
- 1.7 安全上の理由によりエリアわけをする場合がある。その場合は、課題に使用しているテープの色と黒色以外のテープにより明示する。
- 1.8 各シリーズ戦の終了後には、決勝ラウンドでの順位等により『シリーズポイント』が与えられる。
- 1.9 シリーズ戦の年間順位は、各シリーズで与えられたポイントのうち上位3戦のポイント合計で集計する。

2 競技中

- 2.1 アテンプトの開始は、特別な指示がない限りはスタートホールドを両手で保持し、両足をホールドか壁に置く状態であるスターティングポジションから登り始める。この定められたスターティングポジションに入るための全ての試みは、選手の身体のあらゆる部分が地面から離れた時点で1回のアテンプトに数えられる。
- 2.2 ボーナスポイントは予選ラウンドでは各ボルダーに1つ、決勝ラウンドでは各ボルダーに1~2つ設定される。選手はこのボーナスポイントを保持することにより認定される。また、選手はそのボーナスポイントを使用せずに完登した場合も認定される。
- 2.3 完登は、選手が最終ホールドを両手で保持したうえでジャッジが『OK』と通告したことにより認定される。また、ボルダーの上に立ち上がることなどで代替する場合もあるが、最終的にはジャッジが『OK』と通告したことにより認定される。
- 2.4 クリーニングはジャッジに要求することができる。また、選手は地面から届くところのホールドを自らクリーニングすることもできる。ただし、チョークをつけること、またはティクマークをつけることは1回のアテンプトに数えられる。
- 2.5 スタートホールド以外に、選手の身体のあらゆる部分が触れた時点で1回のアテンプトに数えられる。
- 2.6 選手のアテンプトは1.5に規定する使用限定に違反した時、ジャッジにより中止させられる。

3 予選ラウンド

- 3.1 予選ラウンドはセッション方式であり、ボルダー数は10とする。また各ボルダーにはボーナスポイントが1つ設定されている。
- 3.2 ジャッジカードは選手が保管する。紛失した場合は失格とする。
- 3.3 選手はアテンプトを希望するボルダーまたはエリアに並び、アテンプト前にジャッジカードをジャッジに手渡しボルダーNo.を申告してからアテンプトを開始する。

- 3.4 アテンプトの結果はジャッジが記入する。
- 3.5 アテンプト終了後はジャッジからジャッジカードを受け取る。その際に間違い等があればその場でジャッジに申告する。時間が経過してからの申告は無効とする。
- 3.6 予選ラウンドのセッションタイムは各ジム主催者の判断により設定できる。また、時間の延長等も各ジム主催者の判断により決定できる。
- 3.7 予選ラウンドのセッションタイム内のアテンプトは有効とする。
- 3.8 予選ラウンド終了後、各選手はジャッジカードを指定されたスタッフに直に手渡す。時間が経過してから手渡された場合は無効とする。

4 決勝ラウンド

- 4.1 決勝ラウンドはベルトコンベア方式であり、ボルダー数は3~5とする。また、各ボルダーにはボーナスポイントが1~2つ設定されている(それぞれ『B1』・『B2』)。決勝ラウンドのボルダー数およびボーナスポイント数は各ジム主催者の判断により決定することができる。
- 4.2 決勝ラウンドの定員は6名とし、予選ラウンドの上位者から埋められる。ただし定員を超過した場合、多い方の人数の選手が決勝ラウンドに進出できる。
- 4.3 決勝ラウンドの競技順は、予選ラウンドの順位の下位者からとする。
- 4.4 ローテーション・ピリオドは4分間とする。オブザベーションは各ピリオド内に含む。
- 4.5 ジャッジカードは選手が保管する。紛失した場合は失格とする。
- 4.6 選手はアテンプト前にジャッジカードをジャッジに手渡してからアテンプトを開始する。
- 4.7 アテンプトの結果はジャッジが記入する。
- 4.8 アテンプト終了後はジャッジからジャッジカードを受け取る。その際に間違い等があればその場でジャッジに申告する。時間が経過してからの申告は無効とする。
- 4.9 ローテーション・ピリオド終了時には、登っている選手は登るのをやめ、休憩エリアに入らなければならない。このエリアでは、いずれのボルダーのオブザベーションも認められない。その休憩時間の終了した選手は、次のボルダーに移動しなければならない。
- 4.10 決勝ラウンドが終了した選手は、ジャッジカードを指定されたスタッフに直に手渡す。時間が経過してから手渡された場合は無効とする。

5 テクニカル・インシデント

- 5.1 テクニカル・インシデントは以下のようなものである。
 - 1) ホールドの破損または緩み。
 - 2) その他、選手の動作の結果ではないところのことがらが、選手に不利または有利にはらたいた。
- 5.2 予選ラウンドにおいて、ホールドの破損または緩みによるテクニカル・インシデントが発生した場合、その修復をした後、被害選手からアテンプトを再開する。ただし、被害選手がそれを望まない場合には列に並び先頭選手から再開する。
また、修復に多大な時間を要した場合には、各ジム主催者の判断によりセッションタイムを延長することができる。
- 5.3 決勝ラウンドにおいて、ホールドの破損または緩みによるテクニカル・インシデントが発生し、当該ローテーション・ピリオドの終了前に修復された場合、被害選手はそのアテンプトを継続するかどうかを申し出る機会を与えられる。
 - 1) その選手が継続を望む場合は、テクニカル・インシデントは終了し、以後、それ以上の申し立ては認められない。
 - 2) その選手が継続を望まない場合は、テクニカル・インシデントが発生したボルダーへのアテンプトをラウンド終了後に継続しておこなうことになる。この場合、各ジム主催者は、その選手が、そのアテンプトを継続するのに認められる時間設定を決定する。選手は2分を最低として、インシデントが生じたときの残り時間が認められる。
- 5.4 決勝ラウンドにおいて、ホールドの破損または緩みによるテクニカル・インシデントが発生し、当該ローテ

ーション・ピリオドが終了しても修復されなかった場合、タイムアップの合図の時点で、そのラウンドは被害選手、及びそれ以前のボルダーにいた全ての選手についてラウンドを停止される。それ以外の選手はラウンドを継続する。

修復後、被害選手は2分を最低として、インシデント発生時の残り時間が保証される。
この後、ラウンドを停止されていた全選手に対し、合図をもって再開される。

6 各ラウンド後の順位

6.1 予選ラウンド後、選手は以下の基準で順位付けされる。

- 1) 完登したボルダー数
- 2) ボーナスポイントの数

6.2 決勝ラウンド後、選手は以下の基準で順位付けされる。

- 1) 完登したボルダー数
- 2) 完登までのアテンプト数の合計
- 3) 第2ボーナスポイントの数
- 4) 第2ボーナスポイントに到達するまでのアテンプト数の合計
- 5) 第1ボーナスポイントの数
- 6) 第1ボーナスポイントに到達するまでのアテンプト数の合計

ただし、第2ボーナスポイントが設定されていない場合は、3)と4)を除く。

6.3 決勝ラウンドで同着がある場合、予選ラウンドにさかのぼってカウントバックを適用する。

7 シリーズポイント

7.1 各シリーズ戦の終了後には、決勝ラウンドでの「決勝順位ポイント」、並びに予選ラウンドでの完登数とボーナスポイント数に応じた「予選ポイント」を合計した『シリーズポイント』が男女それぞれに与えられる。

『シリーズポイント』=「予選ポイント」+「決勝順位ポイント」

7.2 各ポイントの詳細は以下の通りである。

予選ポイント		決勝順位ポイント	
完登	3	1位	100
ボーナスポイント	1	2位	60
		3位	40
		4位	30
		5位	20
		6位	10

各選手には、決勝ラウンドと予選ラウンド、それぞれの合計ポイントが与えられる。

※例として、予選ラウンドで7完登8ボーナスポイント・決勝ラウンドで3位の選手には、62ポイントが与えられる。

7.3 決勝ラウンドで同着になる各選手が獲得する「決勝順位ポイント」は、同着になった各順位に対応する全ポイントの平均となる。ポイントは小数点以下を四捨五入する。

※例として、2位が2名の場合はそれぞれ50ポイントが与えられ、2位が3名の場合はそれぞれ43ポイントが与えられる。

7.4 シリーズ戦の年間順位は、各シリーズで与えられた「シリーズポイント」のうち上位3戦のポイント合計で集計する。